

AIRRECT Ver19.0.0 機能強化

本ドキュメントはVer19.0.0での主要な追加機能および仕様変更の概要を記載します。

軽微な機能追加や仕様変更、不具合修正に関しては、リリースノートをご参照ください。

No.	機能
1	802.11bレートの無効化
2	周波数ごとのレート制御
3	アップリンクポートのフェイルオーバー
4	欠落VLANの検出
5	フロアマップへのスイッチ配置
6	パケットキャプチャのローミング追跡
7	AP-サーバ通信キーの監査レポート
8	レポートフィルター
9	クライアント詳細情報の強化
10	アクセスポイントの構成ステータス
11	AI分析力の強化

1. 802.11b レートの無効化

SSID設定にて、低レート(IEEE802.11b)クライアントのSSID接続を無効にできるようになりました。
この機能によって、ネットワーク全体の通信品質と速度を向上させることができます。



2. 周波数ごとのレート制御

通信の最小レート(最小通信速度)を周波数単位で設定できるようになりました。
この機能によって、ネットワーク全体の通信品質と速度をより柔軟に最適化することができます。



3. アップリンクポートのフェイルオーバー (対象機種 : AP-6810, AP-6220)

これまで再起動が伴っていたアップリンクポート(LAN1とLAN2)の切り替えが、アクセスポイントの再起動なく、クライアントの無線接続を維持したまま、切り替えができるようになりました。

切り替え発生後に、LAN1ポートを優先的にアップリンクポートとして使用することもできます。



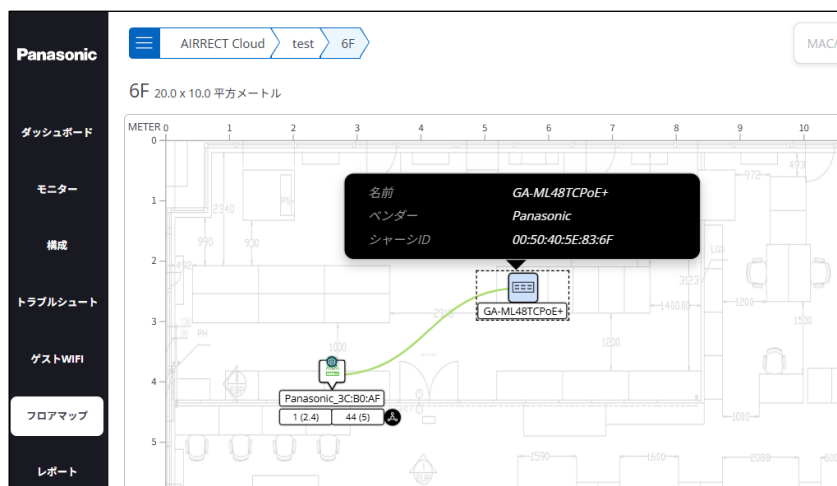
4. 欠落 VLAN の検出

アクセスポイントが無線通信で使用するVLANがネットワーク上に存在しない(未設定の場合、そのVLANを自動で検出できるようになりました。この機能によって、ネットワーク管理者はネットワーク内（スイッチ）におけるVLAN設定のミス/不整合等を迅速に把握することができます。



5. フロアマップへのスイッチ配置

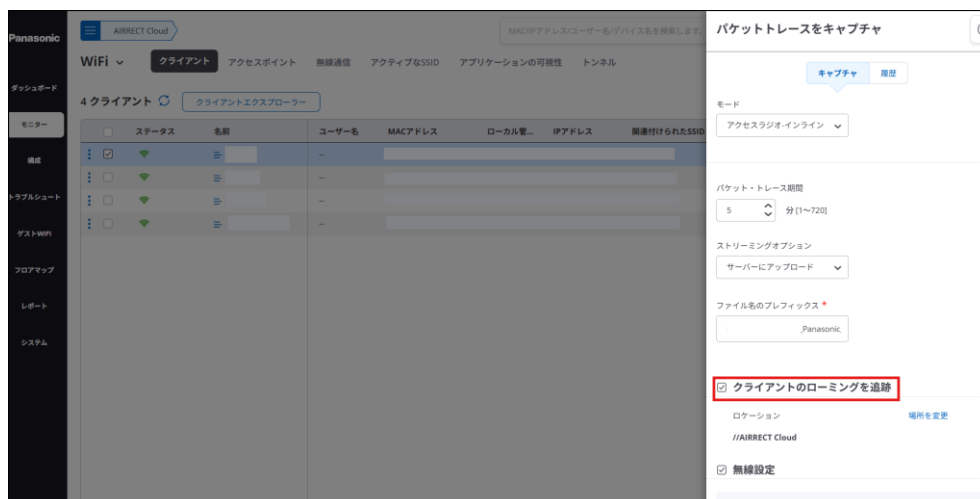
スイッチングハブも、フロアマップ上の好きな位置に配置できるようになりました。



6. パケットキャプチャのローミング追跡

無線パケットキャプチャがクライアントのローミングを追跡できるようになりました。

この機能によって、クライアントがローミングしても、パケットをロスなく継続的にキャプチャすることができます。



7. AP-サーバ通信キーの監査レポート

AP-サーバ通信キータイマーの設定変更履歴を取得できるようになりました。

レポートには、タイマー期間中にクラウドへ接続されたアクセスポイントの接続情報(AP-6810のみ対応)も含まれます。

詳細設定

AP-サーバ通信キー

通信キーは、サーバーとサーバーが管理するアクセスポイント間の認証および暗号化に使用されます。

注意: 通信キーを変更すると、変更時にサーバーに接続されていたアクセスポイントのみに新しい値が自動的に適用されます。サーバーに接続されていないアクセスポイントは、新しい通信キーを別途設定する必要があります。

☐ 通信キーの変更 [パスワード・ポリシー](#)

AP-サーバ通信キータイマー

☐ アクセスポイントがデフォルトの通信キーで接続できるようにする

☐ アクセスポイントが古い通信キーで接続できるようにする

監査レポートをダウンロード

通信キータイマーウィンドウとこのウィンドウ内に接続されたAPに関する過去60日間のデータを含むCSVファイルをダウンロードします。

A	B	C	D	E
日付(UTC)	イベントタイプ	MACアドレス	キータイプ	ログイン名
2025/5/12 8:04	ウィンドウの開始を30分間許可する	--	デフォルトの通信キー	@.com
2025/5/12 8:04	ウィンドウの開始を30分間許可する	--	古い通信キー	@.com
2025/5/12 8:04	AP接続	BC-69:CB-	古い通信キー	--
2025/5/12 8:05	AP接続	BC-69:CB-	古い通信キー	--

8. レポートフィルター

レポート生成時にデータをフィルターできるようになりました。

この機能によって、必要なデータだけを抽出、表示でき、レポートの生成をより早く、より見やすくなります。

WiFi

インベントリ

接続

アプリケーション

WiFiアクセスポイント

WiFiクライアント

WiFi無線

WiFiトネル

WiFiアクセスポイント詳細

WiFi多機能ラジオ - 照時

レポートを生成します

WiFiアクセスポイント

レポート形式

☐ レポートをアーカイブする

フィルター

コラム

☒ すべて選択

☒ ステータス

☒ モデル

☒ 更新

☒ IPアドレス

☒ スイッチ

☒ リンク速度

☒ 平均メモリ使用率

☒ 稼働/停止日時

☒ アップリンクポート

☒ 稼働ステータス

☒ LAGステータス

☒ LAG接続ステータス

☒ 名前

☒ EAPステータス

☒ MACアドレス

☒ 代理

☒ スイッチベンダー

☒ 平均CPU使用率

☒ ビルド

☒ 最終ブート日時

☒ 電源

☒ 能力

☒ ローゼン

☒ ログ

☒ ファイルシステム

☒ アップリンクポート

☒ 稼働ステータス

☒ LAGステータス

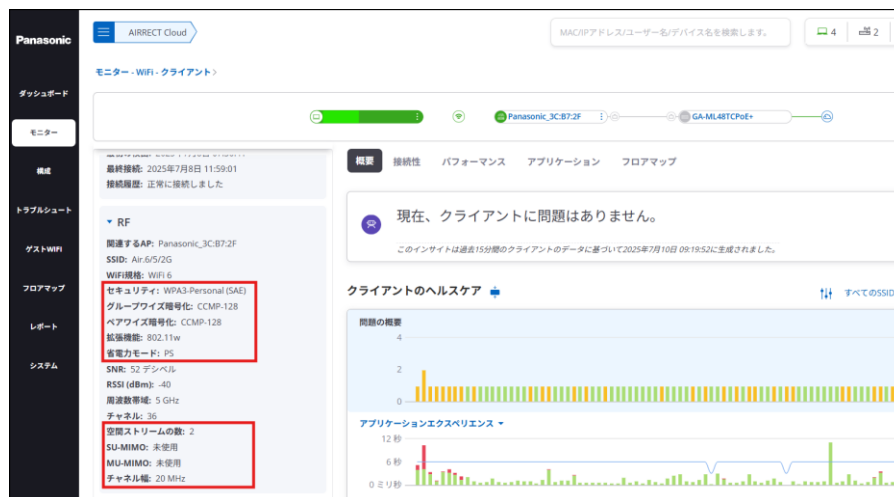
☒ LAG接続ステータス

キャンセル

実行

9. クライアント詳細情報の強化

SSIDプロフィールに設定された通信方式と、クライアントが実際に使用している通信方式を区別して表示できるようになりました。これによって、Transition Mode（混在モード）のSSIDに接続するクライアントであっても、より正確な接続情報を確認することができます。さらに、クライアントの省電力モード、SU-MIMO/MU-MIMOの使用状況、空間ストリーム数など、より詳細な情報も確認できるようになりました。



10. アクセスポイントの構成ステータス

クラウドで、SSIDやデバイスの構成変更をしたときのアクセスポイントへの反映状況を、モニター画面にて構成ステータスとして確認できるようになりました。具体的には、アクセスポイント側で「受信中」「適用中」「適用済み」のどの状態にあるかと最終反映時間を把握することができます。

Panasonic	AIRRECT Cloud				M	
	WiFi	クライアント	アクセスポイント	無線通信	アクティブなSSID	アプリケーション
	ダッシュボード	2 アクセスポイント				
	モニター	アクセスポイントエクスプローラー				
	構成					
トラブルシューティング	ステ...		名前	構成ステータス	最終構成更新	
			Panasonic_3C:B7:2F	適用済み	2025年7月10日 09:34:44	
			Panasonic_3D:28:EF	適用済み	2025年7月10日 09:34:44	

11. AI 分析力の強化

SSID間のホッピング(クライアントが異なるSSID間で接続を切り替える動作)を原因とする接続障害をAIが検出できるようになりました。

概要

接続性

パフォーマンス

アプリケーション

フロアマップ

トラブルシューティング



次の理由から、クライアントで接続の問題が発生しています：

SSIDホッピング - クライアントは過去 15 分間に SSID 間を移動しようとした。

このインサイトは過去15分間のクライアントのデータに基づいて2025年7月9日 20:31:01に生成されました。 | イベント数が多すぎるため、クライアントのイベントが制限されました。

クライアントのヘルスケア

すべてのSSID

すべての周波数帯

1日